

地域がん診療連携拠点病院

市立中央病院は市民のための健康を守り、地域医療の実践、
～いのちをささえ いのちをつなぐ～
を理念としています。



誰もが暮らしている地域の中で、安心して生活することができるよう市立中央病院では、より良い医療を受けるための情報を常に発信し、利用しやすい開かれた病院を目指しています。



※当院は、厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院に指定されています。

がんのセカンドオピニオンを知っていますか？
がんのセカンドオピニオンとは、現在がんの治療を受けている、もしくはがんが診断された場合に、別な医療機関で専門医の意見を聞き、相談することができる制度です。
▼希望されるかたは
市外、遠方で治療しているかたで、自分の担当医にセカンドオピニオンを受けたいと申し出れば、市立中央病院でのセカンドオピニオンが可能です。
当院では、最初にごん総合診療外来で対応します。あらかじめ電話で予約をお願いします。

- 検診のご予約、お問い合わせ
▼ 健診センター
電話受付時間（平日）
午前8時30分～午後3時30分
☎ 5763
- セカンドオピニオン希望のかた
▼ 地域医療連携室
予約受付時間（平日）
午前8時30分～午後3時30分
☎ 5368
- がんについての問い合わせ
▼ がん相談支援センター
月・水・木曜日
午前9時～午後3時30分
火・金曜日、午前9時～正午
☎ 5121（内線3145）

中央病院の役割

発見 がん検診などで病気の発見に努めます。
治療 手術・放射線治療・化学療法・緩和療法治療を行います。
緩和ケア 緩和ケアチームが対応し、患者さんやご家族を支援します。
在宅ホスピスケア ご家族と一緒に生活したいと望まれた患者さんの自宅での療養を支援します。

当院では、発見から治療、緩和ケアなど患者さんばかりでなく、ご家族などに対しても良質な医療や情報を提供しています。



職員の説明を熱心に聞く高校生たち

8月17日、青森県の主催により、医学部進学を目指す高校生が、最新設備を備えた自治体病院などを訪問し、施設見学、医療体験、医師との交流などを行う医療チユートリアル体験事業が実施されました。
市立中央病院では、県立三本木高校を始め、八戸・上十三地域の6高校から12人が参加し、最新鋭放射線治療器トモセラピーを見学したほか、臨床検査科では職員を患者役にし、実際に腹部エコーの操作に挑戦。手術室では急きょ行われた虫垂炎の手術を見学するなど、高校生たちは実際の医療の現場を目にし、医師を目指す気持ちを新たにしました。

医師を目指す高校生が市立中央病院を見学

がん

の早期発見・早期治療！

がんは日本人の死亡原因の第1位で、3人に1人ががんで亡くなっています。また、男女ともに一生を通じて何らかのがんにかかる割合は2人に1人で、誰でもがんにかかる可能性があります。
確かにがんは怖い病気です。しかし「健康診断+がん検診を定期的に受ける」早期発見・早期治療により、がんの種類によつては100%治るものもあります。また、治療する際も放射線治療・化学療法などによる身体への負担が軽く、治療後の日常生活への影響が少なく済みます。皆さんは、
▼健康診断を毎年受けていますか？
▼健康診断にがん検診を加えていますか？
▼要治療、要精密検査などを放つていませんか？きちんと精密検査を受けましたか？
何よりも早期発見・早期治療が重要です。

死亡原因	割合(%)
第1位 悪性新生物（がん）	30.5
第2位 心疾患	16.0
第3位 脳血管疾患	12.0
その他	41.5

平成22年度全国における主な死亡原因

身近にあるがん
平成22年度、全国での主な死亡原因第1位は「悪性新生物（がん）」で、30・5%のかたがそれによって亡くなっています。（左表参照）また、がんで亡くなるかたは増加傾向にあります。
青森県はがんによる死亡率が数年間全国第1位です。原因として、健康診断の受診率の低さや経済的な問題が大きいと考えられています。がんは、皆さんの身近に潜んでいる病気なのです。

▼前立腺がんは男性特有のがんで、自覚症状がほとんどありません。しかし、唯一血液検査で発見できるがんです。
45歳頃から健康診断時に合わせて検査を受けましょう。市立中央病院では2300円の負担で検査できます。



健康診断を受けるときが最大のチャンス
目覚ましい医療の進歩でがんは完治できる病気、命を落とさない病気になってきています。がんを早期に発見するためにも皆さんが普段受けている健康診断を有効に活用しましょう。

▽胃がんを早期発見するには、胃のバリウム検査を内視鏡検査にオプション変更することにより、いっそう精度が高まります。がん以外の病気が発見できる可能性もあります。
▽大腸がんも早期発見できれば100%完治することが可能になってきています。
症状が出てからではすでに進行している可能性があります。健康なときほど「健康診断・がん検診」を受けることをお勧めします。



放射線科には女性の技師もいます。マンモグラフィ（乳房撮影）などの際は、可能な限り配慮いたします。

▽女性のかたは、35歳以降から乳がん検診を定期的に行うことをお勧めします。